

経済諸会議の動向（１）

田中 修

はじめに

中央経済工作会議終了後、各官庁は全国会議を開催し、政策各論を議論している。本稿では、12月13-14日開催された全国発展・改革工作会議の概要を紹介したい。

習近平総書記が中央経済工作会議上で発表した重要講話は、現在の経済情勢と2020年の任務について一連の重大判断・重大手配を行った。これは、発展改革政策をしっかりと行うために遵守すべきことである。発展改革系統組織は、思想・行動を習近平総書記重要講話精神と党中央の政策決定・手配に統一しなければならない。

①情勢を正確に認識し、戦略の不動心を維持し、必勝の信念を増強しなければならない

問題・リスク・試練が増大する可能性を見て取ると同時に、わが国がなお戦略的チャンス
の時期にあり、多くの有利な条件と発展の優位性を備えていることを見て取り、発展の自信
を確実に増強しなければならない。

②主たる攻め口を明確にし、危機をうまくチャンスに変え、自身の事柄にしっかり取り組ま
なければならない。

「雇用・金融・対外貿易・外資・投資・予想」を安定させる政策をしっかりと実施すること
に力を入れ、経済の質の高い発展を推進することに力を入れ、サプライサイド構造改革を深
化させることに力を入れ、強大な国内市場の形成を促進することに力を入れ、3大堅塁攻略
戦をしっかりと戦い勝利することに力を入れなければならない。

③主要目標にしっかり狙いを定め、長期・短期を結びつけることを重視し、うまく重点を際
立たせ、一般をも併せ考慮しなければならない。

外部の試練への対応と内部の難題打破を結びつけ、当面の問題と長期の矛盾の解決を結
びつけ、有効な市場と有力な政府を結びつけ、力を尽くして行うことと力量を踏まえて行う
ことを結びつけなければならない。

2020年は、小康社会の全面実現と第13次5ヵ年計画の手仕舞いの年であり、第1の百年
奮闘目標を実現し、第14次5ヵ年計画の良好なスタートを切るためにより好い基礎を打ち
固めるためのカギとなる年である。

発展改革系統組織は、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想を導きとし、19回
党大会・19期2中全会・3中全会・4中全会精神を真剣に貫徹し、中央経済工作会議の手配
を真剣に実施しなければならない。安定の中で前進を求めるという政策の総基調を堅持し、
新発展理念を堅持し、発展改革政策を着実にしっかりと実施し、小康社会の全面実現と第13
次5ヵ年計画の円満な手仕舞いのために、すべき努力を行わなければならない。

(1) 「穩」(安定)の字を頭に置くことを堅持する。

経済の平穩な運営を促進し、マクロ・コントロールを刷新・整備し、政策の協同・協調を強化し、市場の予想を確実に安定させる。

(2) 強大な国内市場の促進に力を入れる。

カギ・コアとなる技術の難関攻略を強化し、伝統産業の改造・グレードアップを加速し、壮大な新動力エネルギーの育成に力を入れ、供給サイドと需要サイドの間の最も良い結びつき方とキーポイントを正確に探し出し、重大プロジェクトの備蓄をしっかりと実施し、有効な投資の拡大に努力し、消費の新たな成長スポットを積極的に育成・開拓する。

(3) 改革・イノベーションを強化する。

発展の質・効率を一層高め、サプライサイド構造改革の重点任務を実施し、市場化・法治化・国際化したビジネス環境を作り上げ、重大な基礎的・カギとなる改革を推進し、投融資と価格の体制改革を深く推進する。

(4) 都市・農村、地域の協調発展を統一的に企画・推進する。

壮大な発展の動力源を育成し、農村振興を着実に推進し、地域経済の協調・協同発展を促進し、新しいタイプの都市化建設を積極的に推進する。

(5) 対外開放水準を一層高める。

国際協力・競争の新たな優位性を早急に育成し、「一帯一路」共同建設の質を高め、外資利用を一層拡大し、国外投資の健全で秩序立った発展を誘導し、対外貿易の質向上・安定促進を推進する。

(6) 不足部分の補充・脆弱部分の補強プロジェクトの質向上を重視する。

民生の実務を確実にしっかり行い、あらゆる手を尽くして雇用を安定させ、脱貧困堅塁攻略戦に全面的に打ち勝ち、重点農産品の供給保障・価格安定をしっかりと行い、汚染対策を確実・有効に推進し、公共サービス水準を引き続き高める。

(7) 総体としての国家安全観を貫徹する。

いささかも緩めることなく重点分野のリスクを防止・解消する。

(8) 第14次5ヵ年計画を科学的に編成する。

質の高い第14次5ヵ年計画(要綱草案)を検討・起草し、第13次5ヵ年計画の実施の総括評価を着実にしっかり行う。

(1月28日記)